テレビ露出

媒体・番組名	日時
BCN eスポーツ部（イベント告知）	2024/12/13
山口放送「KRYニュース」「kry news every.」「KRYさわやかモーニング」	2025/01/13
日刊新周南	2025/01/16

▼山口放送「KRYニュース」

▼山口放送「kry news every.」

▼日刊新周南

日刊新周南　2025年(令和7年)1月16日(木)　【周南】(4)

周南

県内初「eスポGOMI」開く

eスポーツとごみ拾い満喫

大会の参加者

eスポーツの大会の前後に会場周辺のごみを集めて競う「eスポGOMI in 山口周南」が12日、周南市の徳山駅前図書館の交流室と徳山駅周辺で開かれ、県内各地から30人が参加した。ごみ拾いは3人ずつの7チームで競い、優勝は「チームランナーズ」で、2位は「周南料飲組合B」だった。

この大会は一般社団法人ソーシャルスポーツイニシアチブと㈱ラップの主催。日本財団の「海と日本プロジェクト・CHANGE FOR THE BLUE」の一環で、市と山口放送㈱の後援。

eスポGOMIは決められたエリアや競技時間で集めたごみをポイント化して競う活動。ソーシャルスポーツイニシアチブは日本財団のプロジェクトに賛同してスポGOMIとeスポーツを組み合わせた大会を全国各地で開いており、山口県では初の大会。参加者は前半と後半の間に約1時間、「ぷよぷよeスポーツ」の大会を楽しんだ。

ごみ拾いは前半、後半の各30分で、徳山駅周辺がエリア。ごみ拾いではペットボトル、空き缶、かさ、吸い殻など予想以上に大量のごみが集まった。

今回を含め、各地でeスポGOMIのイベントを運営している「一般社団法人SOCIAL GOOD ENTERTAINMENT」の高木光治代表は「反応がよくて楽しんでいただけた。これからも広げたい」と意欲を見せていた。

拾ってきたごみの計量

ニュースは日刊新周南

▼BCN eスポーツ部

大会情報　2024.12.13

スポーツ×ごみ拾いの「eスポGOMI」が山口初開催 参加者募集中　会場は周南市立徳山駅前図書館

大会/イベント

記事をシェア

ソーシャルスポーツイニシアチブとラップは2025年1月12日13時30分～16時30分に、「海と日本PROJECT eスポGOMI in 山口周南」を周南市立徳山駅前図書館（山口県周南市）にて開催する。参加費は無料で、3名のチームによる事前申し込みが必要となる（応募多数の場合、抽選となる可能性あり）。なお、イベントの運営制作には、SOCIAL GOOD ENTERTAINMENTが参画する。

▼山口放送「KRYさわやかモーニング」

イベント名：海と日本 PROJECT スポGOMI×サッカー in 月の輪自動車教習所（滋賀）

申請団体名：SOCIAL GOOD ENTERTAINMENT

スポGOMI×サッカー in 月の輪自動車教習所 のまとめ

達成率	受益者数	参加者数：85% 観覧者数：200%	メディア	1社 （各イベント1社以上目標）

量的成果（事業の拡がり）

① 参加者数 60人、観覧者数40人

② 拾ったごみの総量 約39.368kg

③ メディア露出量 1社

④ 協賛（協力）・後援企業団体合計2社

質的成果（次なる展開への芽）

① 参加者のポジティブな反応・声が多かった

② イベントに賛同し精力的に動いてくださる事業者が多かった

③ イベントに賛同し来年度への開催に期待する声が多かった

所感

サッカーとの掛け合わせということもあり、滋賀県にある高校のサッカー部が2校参加。さらに開催地が自動車学校ということもあり、高校生との相性も極めて高く参加者協力企業からも好感触を得ることができた。参加者こそ目標数値に達しなかったが、サッカーチームとの新たな取り組みの可能性を見出せた。

来年以降

サッカーチームとの掛け合わせにより、サッカー自体に惹かれて参加をしてくる方も多くいたことから、海洋ごみを考えるきっかけをスポーツと掛け合わせることによって普段届かない層にまでリーチすることができると分かった。そのため、来年以降は各地域でも開催ができるよう導入方法、拡散方法を検討していく。

協賛および後援 企業一覧

SASAYURI FC SHIGA／株式会社瀬田月輪自動車教習所

テレビ露出

媒体・番組名	日時
毎日新聞 滋賀版	2025/01/22

▼毎日新聞 滋賀版

県内初 ゴミ拾い×サッカー

地域美し、ゲームは楽し

「スポGOMI」に高校生

スポGOMIでたばこの吸い殻などのゴミを拾う参加者たち＝大津市月輪１で

大津 制限時間内に拾ったごみの量を競う「スポGOMI（ごみ）」とサッカーを融合させたイベントが月の輪自動車教習所（大津市月輪１）周辺で開催された。瀬田工高や彦根東高のサッカー部員ら約60人が参加し、サッカーを楽しみながら地域美化に取り組んだ。

スポGOMIは３人１組のチームで、規定エリアのゴミを拾い、その質と量を競うスポーツ。イベントは日本財団が推進する海洋ごみを減らす事業「海と日本プロジェクト」の一環で、サッカーとの組み合わせは県内で初めて実施された。

参加者はゴミ拾い前半戦として30分間、教習所周辺のゴミを拾った後、柵内で１対１で相手の股抜きなどを狙うストリートサッカーの「１ｏｎ１」で競い合った。サッカーの上位チームには、後半戦のスポGOMIで有利になるトング使用や人員の追加などがあり、最終的にスポGOMIで高得点を獲得したチームが表彰された。

参加した瀬田工高１年の末浪琉生さん(16)は「サッカーとゴミ拾いを同時にするのは初めて。たばこのゴミを多く拾えたので絶好調だった」と笑顔を見せた。【飯塚りりん】

イベント名：海と日本 PROJECT スポGOMI×ハンドボール in 沖縄

申請団体名：SOCIAL GOOD ENTERTAINMENT

スポGOMI×ハンドボール in 沖縄のまとめ

達成率	受益者数	参加者数：85% 観覧者数：250%	メディア	0社 (各イベント1社以上目標)

量的成果（事業の拡がり）

① 参加者数 60人、観覧者数50名程度

② 拾ったごみの総量 約49.159kg

③ メディア露出量 0社

④ 協賛（協力）・後援企業団体合計1社

質的成果（次なる展開への芽）

① 参加者のポジティブな反応・声が多かった

② イベントに賛同し精力的に動いてくださる事業者が多かった

③ イベントに賛同し来年度への開催に期待する声が多かった

所感

昨年度の「スポGOMI事業拡大プロジェクト(CFB・海と日本2023)」で協力いただいた団体ということもあり運営までの流れがスムーズに行うことができた。参加者に関して応募段階では80名を超える応募があったものの無断での不参加が多く目立った。沖縄県でのイベントではよくあることのようだが、対策を講じていきたい。

来年以降

ハンドボールチームとしてジュニアチームの運営も行っている。その中で地域貢献の位置付けでごみ拾いイベントは他にも行っているが、なかなか一般の参加者は少ないため、今回の企画のような体験要素も掛け合わせた形での開催を来年度以降は推し進める。

協賛および後援 企業一覧

株式会社琉球コラソン

イベント名：海と日本 PROJECT eスポGOMI in 徳島

申請団体名：SOCIAL GOOD ENTERTAINMENT

eスポGOMI in 徳島のまとめ

達成率	受益者数	参加者数：51% 観覧者数：250%	メディア	8社 (各イベント1社以上目標)

量的成果（事業の拡がり）

① 参加者数 36人、観覧者数50人

② 拾ったごみの総量 約21.697kg

③ メディア露出量　8社

④ 協賛（協力）・後援企業団体合計11社

質的成果（次なる展開への芽）

① 参加者から親子で参加しやすいイベントの声が多かった

② イベントに賛同し精力的に動いてくださる事業者が多かった

③ イベントに賛同し来年度への開催に期待する声が多かった

所感

事前の段階から告知でラジオ出演や新聞記事の掲載があったにも関わらず参加者数が伸び悩んだ。当日飛び入り参加をしてくれる方も多くいたが、「初めて見るイベント」ということで、見学だけしたいという観覧希望の方が非常に多く散見された。その地に根付いたイベントでないと参加者数増加に繋がらないという情報を観光協会の方からお話もあった。継続をしながら海洋ごみについて考えるきっかけを与えていきたい。

来年以降

スポGOMIワールドカップ徳島STAGEも同団体と連動して行うため、すでに参加者への声かけ含め行えている。周知イベントの流れで動けるメリットが非常に多くあることを感じているため、ワールドカップに留まらずスポGOMI、eスポGOMIの導入を進めさらなる拡大を狙う。

協賛および後援 企業一覧

株式会社ころぼっくすぷろじぇくと／株式会社Life Reversal Gaming.／スタジオソル／一般社団法人 鳴門市うずしお観光協会／鳴門海峡の渦潮を世界遺産にする会／鳴門市観光コンベンション株式会社／鳴門市／エフエムびざん／四国放送／FM 徳島／株式会社テレビ鳴門

テレビ露出

媒体・番組名	日時
徳島新聞（イベント告知）	2025/01/27
四国放送「となりのラジオ」（イベント告知）	2025/02/04
エフエムびざん「B-STEP TALKING」	2025/02/06
四国放送「となりのラジオ」（イベント告知）	2025/02/10
徳島新聞（イベントレポート）	2025/02/16
朝日新聞 徳島版	2025/02/16
BCN eスポーツ部	2025/02/18
テレビ鳴門 とくしま情報「ステップ」	2025/02/19
リビング鳴門	2025/02/26

▼朝日新聞 徳島版

ゲームに勝って有利にごみ拾e

鳴門でイベント

コンピューターゲームで対戦する「eスポーツ」とごみ拾いを合わせたイベント「eスポGOMI」が15日、鳴門市撫養町林崎の妙見山公園であった。6歳から70代まで50人あまりが参加し、ゲームとごみ拾いの得点を競った。

参加者は3人ずつのチームで対戦。eスポーツでは、パズルゲーム「ぷよぷよ」に挑んだ。上位入賞チームには、ごみ拾いに助っ人が加わるなどの特典が与えられた。

ごみ拾いでは「燃えるごみ」「燃えないごみ」など分別しながら周辺のごみを拾い集め、種類ごとに重さをポイント化して勝負した。

公園内は起伏に富んでおり、息を切らしながらのごみ集め。この日回収したのは計約21キロにのぼった。

父の誘いで参加した丸山夏芽さん(10)=徳島市八万町=は「ごみはいっぱい集まったけど、本当は公園に捨てないでほしい」と話した。

日本財団「海と日本プロジェクト・CHANGE FOR THE BLUE」のイベントで各地で開かれており、県内では初めての開催だった。

（相江智也）

「ぷよぷよ」（©SEGA）に挑戦する参加者ら。実況役が場を盛り上げた＝いずれも鳴門市撫養町林崎

集めたごみの重さを計測してもらう参加者ら

おくやみ申し上げます

【鳴門市】林 義春さん(94)里浦町
【小松島市】河野多美子さん(72)小松島町
【阿南市】横坂 秀幸さん(71)下大野町
【吉野川市】佐藤 善平さん(76)鴨島町牛島
【北島町】生原 健次さん(73)
【藍住町】中島ヨネ子さん(99)矢上
（各市町村の提供資料に基づき、氏名は朝日新聞社の字体で表記しています）

中四国の小学生 熱く氷上の戦い

…にであうきっかけにもなります」と話す。フィギュアやカーリング、スピ

▼徳島新聞（告知＆レポート）

第3種郵便物認可

ごみ拾いとパズルゲームで競争

「eスポGOMI」徳島初開催

来月15日・鳴門 参加チーム募集

ごみ拾いをスポーツとして競う「スポGOMI（ゴミ）」とeスポーツを組み合わせた「eスポGOMI」の徳島大会が2月15日、鳴門市撫養町の防災交流拠点・トリーデなると一帯で初めて開かれる。若者らにごみ問題への関心を持ってもらうのが目的。主催する一般社団法人ソーシャルスポーツイニシアチブ（東京）などが参加を募っている。

参加者は3人一組で午前と午後の2回、スポGOMIの競技に臨む。制限時間内に所定のエリア内のごみを拾い、ペットボトル、たばこの吸い殻など種類に応じて定められた100グラム当たりの得点の合計を競う。

午前の部終了後、eスポーツのパズルゲーム「ぷよぷよ」で対戦。上位チームが、ごみを拾うトングを1個多い2個に増やせるなどの特典を得て午後の部を戦う。

鳴門市や市観光コンベンションなどとの連動企画も実施。「鳴門海峡の渦潮を世界遺産へ」の文字やロゴマークがデザインされたごみ拾い用の軍手といった参加記念品が贈られる。

eスポGOMIは、08年に始まったスポGOMIにeスポーツを融合させて21年4月に横浜市で初めて実施。鳴門市での開催が28回目となる。これまで県内では、23年7月に「スポGOMIワールドカップ」の県予選が徳島市で開かれている。

司会を務める鳴門市出身の声優沢井真知さん＝東京都＝は「どこにどんなごみが落ちているかゲーム感覚で確かめながら、環境問題について考えてほしい」と話している。

参加の申し込みは専用フォーム＝QRコード＝から。当日までエントリー可能だが32組の定員に達し次第、締め切る。（木村恭明）

【上】eスポGOMI大会でごみを拾う参加者【下】パズルゲームで対戦する参加者＝いずれも2022年11月13日、横浜市（eスポGOMI開催委員会提供）

eスポGOMIでごみを拾う参加者＝鳴門市撫養町林崎

「eスポGOMI」住民ら60人が満喫

鳴門で初の徳島大会

拾ったごみの量とゲームの得点を合計して競う「eスポGOMI（ごみ）」の徳島大会が、鳴門市撫養町林崎のトリーデなるとで初めて開かれた。

6～74歳の住民とスタッフ約60人が参加。12チームに分かれ、妙見山一帯に捨てられた空き缶やペットボトルなどを拾い集めた後、パズルゲーム「ぷよぷよeスポーツ©SEGA」で対戦した。

集まったごみは計約21キロで、林崎小6年の石川寛人さん(12)は「友達と協力して、ごみをたくさん拾った」と笑顔だった。

eスポGOMIは、日本財団の「海と日本プロジェクト・CHANGE FOR THE BLUE」の一環。若者らにごみ問題への関心を持ってもらおうと、ソーシャルスポーツイニシアチブ（東京）などが2021年から全国各地で開いている。徳島大会は、司会を務める声優の沢井真知さん＝東京都＝が鳴門市出身であることから実現した。15日にあった。（吉田嵩）

ご結婚お祝い申し上げます（敬称略）

黒澤椋音（徳島市国府町）♡谷口舞由香（同）
梅谷勇佑（東京都）♡浅田侑子（鳴門市撫養町）

▼テレビ鳴門 とくしま情報「ステップ」

▼BCN eスポーツ部

大会レポート 2025.02.18

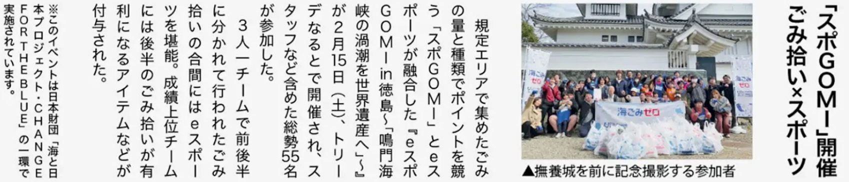
eスポーツを楽しんで街をキレイに 徳島県鳴門市で初開催の「eスポGOMI in 徳島」レポート

大会/イベント ぷよぷよ

記事をシェア

ソーシャルスポーツイニシアチブところぼっくすぷろじぇくとは2月15日、徳島県で「eスポGOMI in 徳島」を開催しました。鳴門市などの後援のもと開催された同イベントでは地元から多数の参加者が集まり、eスポーツとゴミ拾いで盛り上がりました。

▼リビング鳴門



「スポGOMI」開催
ごみ拾い×スポーツ

▲撫養城を前に記念撮影する参加者

規定エリアで集めたごみの量と種類でポイントを競う「スポGOMI」とeスポーツが融合した『eスポGOMI in 徳島～「鳴門海峡の渦潮を世界遺産へ」～』が2月15日（土）、トリーデなるとで開催され、スタッフなど含めた総勢55名が参加した。

3人一チームで前後半に分かれて行われたごみ拾いの合間にはeスポーツを堪能。成績上位チームには後半のごみ拾いが有利になるアイテムなどが付与された。

※このイベントは日本財団「海と日本プロジェクト・CHANGE FOR THE BLUE」の一環で実施されています。

イベント名：海と日本 PROJECT eスポGOMI in ウミガメ産卵地・青島海水浴場（宮崎）

申請団体名：SOCIAL GOOD ENTERTAINMENT

eスポGOMI in ウミガメ産卵地・青島海水浴場　のまとめ

達成率	受益者数	参加者数：72% 観覧者数：200%	メディア	2社 (各イベント1社以上目標)

量的成果（事業の拡がり）

① 参加者数 51人、観覧者数40名程度

② 拾ったごみの総量 約51.895kg

③ メディア露出量 2社

④ 協賛（協力）・後援企業団体合計5社

質的成果（次なる展開への芽）

① 参加者のポジティブな反応・声が多かった

② イベントを観光コンテンツとして参加したい声が上がった

③ イベントに賛同し来年度への開催に期待する声が多かった

所感

海外からの観光客の方がゲームとの掛け合わせイベントというところに興味をもち参加。熱狂的な様子が非常に印象的でごみの総量としても51kgとさすが海水浴場近郊である数値を出した。参加者数に課題はあったが冬季に海水浴場に来る方が少ないことから開催時期が次回以降の課題となった。

来年以降

地域まちづくり推進かいや観光協会からも非常に本イベントに興味を持っていただけ、今回のeスポーツとのかけ合わせ以外にも現在問い合わせがきている。海ごみについて考えるきっかけを次回の開催に加え、年間を通して周知できる形で継続してく。

協賛および後援 企業一覧

青島地域まちづくり推進委員会／宮崎市青島ビーチセンター「渚の交番」／株式会社Life Reversal Gaming.／公益社団法人宮崎市観光協会／MOC（一般社団法人宮崎オープンシティ推進協議会）

テレビ露出

媒体･番組名	日時
BCN eスポーツ部（イベント告知）	2025/01/28
BCN eスポーツ部（イベントレポート）	2025/02/24

▼BCN eスポーツ部（告知）

大会情報　2025.01.28

eスポーツ×ゴミ拾いでウミガメ産卵地を守る！ 宮崎・青島海水浴場で初の「eスポGOMI」開催　参加募集中

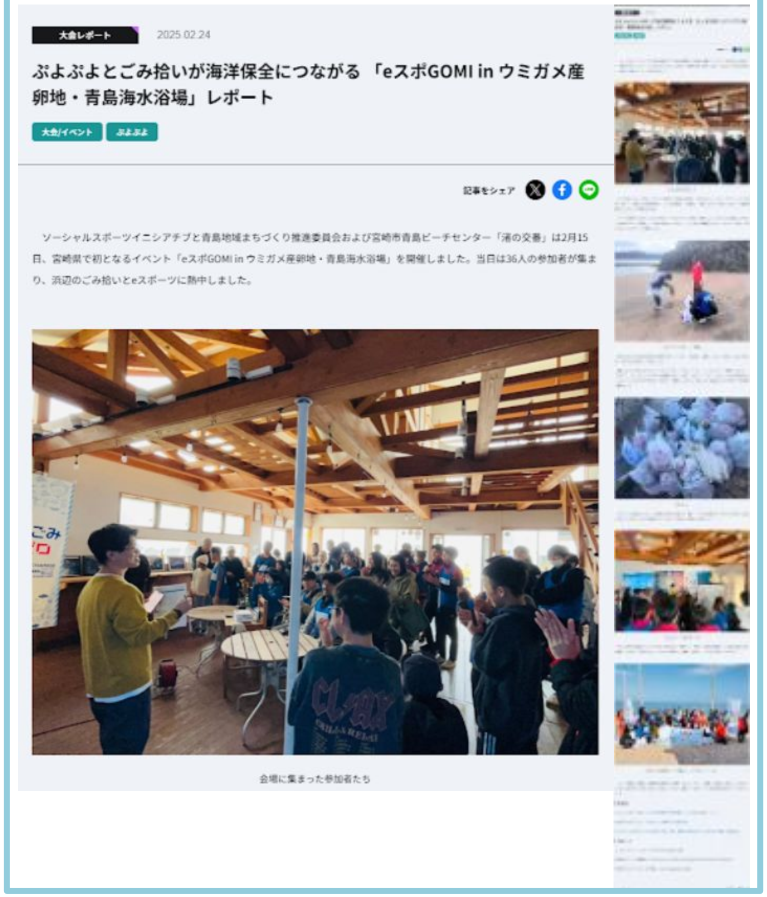
大会/イベント

記事をシェア

ソーシャルスポーツイニシアチブ、青島地域まちづくり推進委員会、宮崎市青島ビーチセンター「渚の交番」（宮崎県宮崎市）は、2月15日10時～13時、「海と日本PROJECT eスポGOMI in ウミガメ産卵地・青島海水浴場」を開催する。SOCIAL GOOD ENTERTAINMENTが運営制作に参画する。

2022年11月13日に開催された「eスポGOMI 2022 横浜大会」の様子

▼BCN eスポーツ部（レポート）


大会レポート　2025.02.24

ぷよぷよとごみ拾いが海洋保全につながる 「eスポGOMI in ウミガメ産卵地・青島海水浴場」レポート

大会/イベント　ぷよぷよ

記事をシェア

ソーシャルスポーツイニシアチブと青島地域まちづくり推進委員会および宮崎市青島ビーチセンター「渚の交番」は2月15日、宮崎県で初となるイベント「eスポGOMI in ウミガメ産卵地・青島海水浴場」を開催しました。当日は36人の参加者が集まり、浜辺のごみ拾いとeスポーツに熱中しました。

会場に集まった参加者たち